

【リハビリテーション学部】

◎リハビリテーション学科の3つの方針

《リハビリテーション学部リハビリテーション学科がめざす人間像》

保健医療福祉におけるリハビリテーションの研究・実践の発展に寄与し、生活者としての地域住民のニーズに応え、広く社会に貢献できる理学療法士・作業療法士

学位授与方針（ディプロマポリシー）

[知識・理解]

- ・人体の構造と機能及び疾病と障害について理解し、理学療法或いは作業療法における専門職としての必要な評価・治療などに関する基礎知識を身に付けている。

[思考・判断]

- ・実践を通じて自己の課題を明確に、対象者の身になって他者を理解して、全人的・総合的かつ専門的な評価と実践の計画立案ができる。

[技能・表現]

- ・コミュニケーション技法をもって他職種と協業できる。
- ・対象者をより健康な状態へ導くために必要な専門的な対処行動が取れ、支援ができる。

[態度]

- ・対象者らと共に感性をもって真摯な態度で接することができる。
- ・専門職業人として、人間性豊かで責任ある行動がとれる。

[関心・意欲]

- ・多種多様な文化や価値観に関心を持ち、人間の生活と人権を考慮し、理学療法或いは作業療法の発展や向上をめざすことができる。

教育課程方針（カリキュラムポリシー）

- ・人体の構造と機能及び疾病と障害を理解するため、解剖学、生理学、運動学、内科学、整形外科学、精神医学、老年医学などを配置する。
- ・専門職として必要な評価と治療などに関する基礎知識を習得するために、それぞれ理学療法または作業療法の評価学と治療学を配置する。
- ・全人的・総合的かつ専門的な評価と実践の計画を立案するため、領域別・疾患別理学療法学または作業療法学などを配置する。
- ・他職種と協業できるコミュニケーション技能や専門的対処行動や支援技能を習得するため、人間関係論、領域別・疾患別理学療法学実習・演習または作業療法学演習、臨床実習などを配置する。
- ・人間の生活と人権を考慮し、多種多様な文化や価値観に関心を持つため、健康福祉概論、作業と生活などを配置する。

入学者選抜方針（アドミッションポリシー）

リハビリテーション学科では、保健・医療・福祉チームの一員として対象者や地域・社会の多様なニーズに応じて活躍できる理学療法士、作業療法士を育成することを目的とし、次のような意欲、能力、適性をもった学生を受け入れることを基本方針とする。

- ①理学療法士・作業療法士を目指す動機と意欲がある人
- ②大学教育の習得に必要な基礎学力を備えている人
- ③相手の立場に立ったコミュニケーションがとれる人
- ④物事を順序立てて論理的に考えることができる人

以上のような基本方針に基づき、人間の生活と人権を尊重し、人の身になって他者を理解しようとする豊かな共感性とコミュニケーション能力をもち、保健医療福祉の専門職として、地域に暮らしている人々の豊かな生活実現に向けて貢献しようとする目的意識と情熱を持つ学生を積極的に受け入れたいと考える。

本学科への入学を希望する学生は、高等学校において基本とされる教科を幅広くしっかりと勉強することが必要となり、中でも理科の科目を履修していることが望ましいと考える。